

坐薬の使い方

この薬は、直腸粘膜から吸収され効果があらわれる坐薬です。肛門よりそう入する薬ですので、決して口から飲まないでください。

- ① できるだけ排便後にそう入してください。
- ② ティッシュやガーゼ等で坐薬の後部をつまみ、図のように先のとがった方から肛門内に深くそう入してください。
- ③ 坐薬が外に出ないようにするため、そう入後20～30分間は運動を避けてください。
- ④ 使用後、油様の排泄物が出ることがありますが、この薬の基剤が一部排泄されているだけです。心配いりません。



保管上の注意

- 室温保存：1～30℃の直射日光が当たらない場所で保管してください。
- 冷暗所保存：15℃以下の冷所（冷蔵庫など）に、光、湿気を避けて保管してください。

- ・いずれの保管条件におきましても、なるべく冷蔵庫などの涼しいところ（15℃以下）で保管することをお勧めします。
- ・高温の場所（夏場の自動車内など）では、溶解・変形する恐れがありますので、絶対に置かないでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かない所に保管してください。

坐薬の取り出し方

- ① 切れ目を利用して1個分を切りはなします。
- ② ③ 図の要領でゆっくり左右に開いて坐薬を取り出します。

